

【公開版】

提出年月日	令和2年2月5日	R3
日本原燃株式会社		

M O X 燃 料 加 工 施 設 に お け る
新 規 制 基 準 に 対 す る 適 合 性

安全審査 整理資料

低レベル廃液処理設備の貯槽容量等の変更

目 次

- 1 章 低レベル廃液処理設備の貯槽容量等の変更に伴う，加工施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則への影響について
 - 1．変更の概要
 - 2．変更に伴う設計方針
 - 3．加工施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則への影響

- 2 章 補足説明資料

2 章 補足説明資料

MOX燃料加工施設 安全審査補足説明資料リスト
低レベル廃液処理設備の貯槽容量等の変更

MOX燃料加工施設 安全審査補足説明資料				備考
資料No.	名称	提出日	Rev	
補足説明資料1-1	低レベル廃液処理設備の貯槽容量の変更	1/23	1	
補足説明資料1-2	油類の取扱いの変更	2/5	2	
補足説明資料1-3	第2低レベル廃棄物貯蔵系の最大保管廃棄能力の変更	1/23	2	

令和2年2月5日 R2

補足説明資料1－2

油類の取扱いの変更

1. 油類の取扱いの変更の概要について

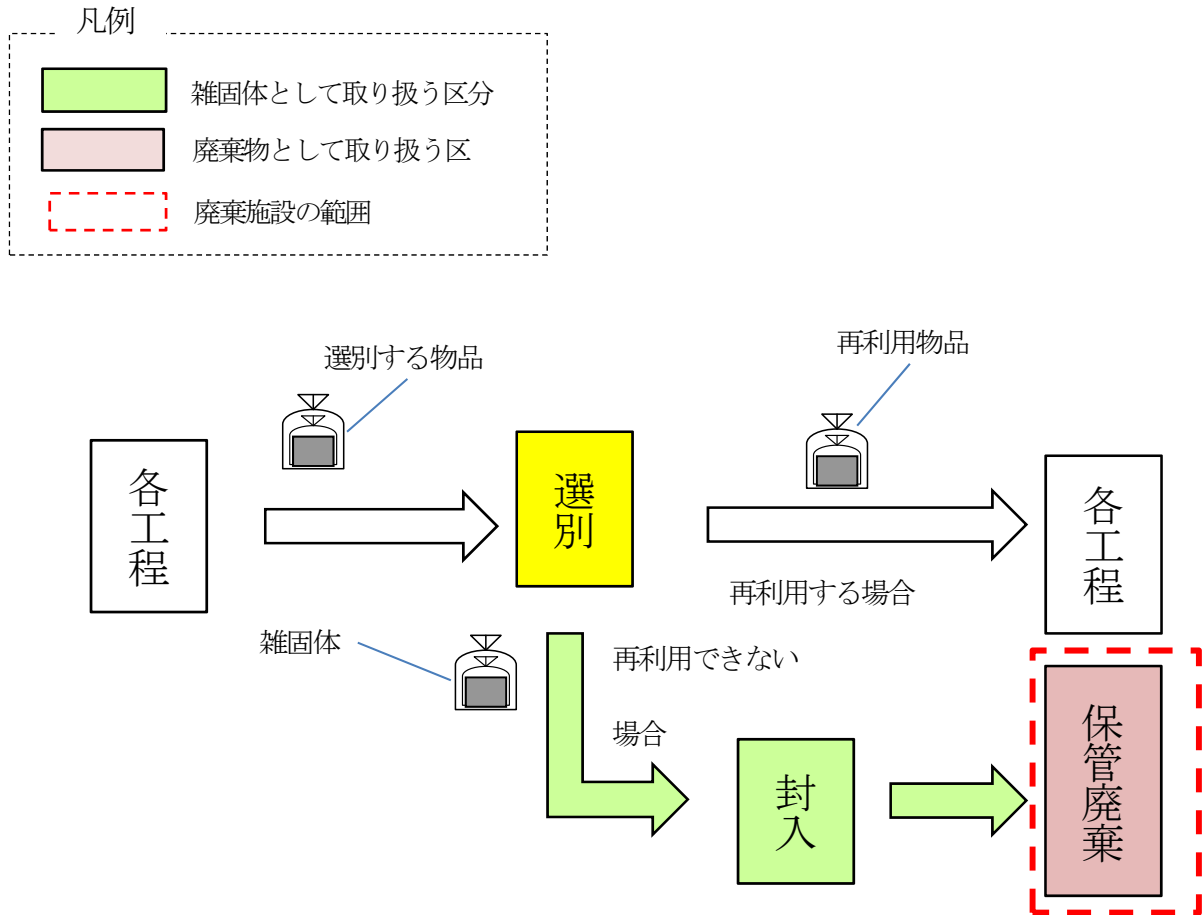
MOX燃料加工施設の廃棄施設のグローブボックスにおいて、廃棄物を取り扱う作業、金型の保管及びその他の物品を取り扱う作業を同一のグローブボックスで実施していたため、MOX燃料加工施設の管理区域内作業で発生する物品の選別及び廃棄までの流れを整理した。

この放射性廃棄物の取扱いについて整理したなかで、放射性液体廃棄物として保管廃棄するとしていた油類について、再利用する油類と再利用しない油類に選別する作業を実施したのち、再利用しない油類を放射性廃棄物として保管廃棄することに変更する。

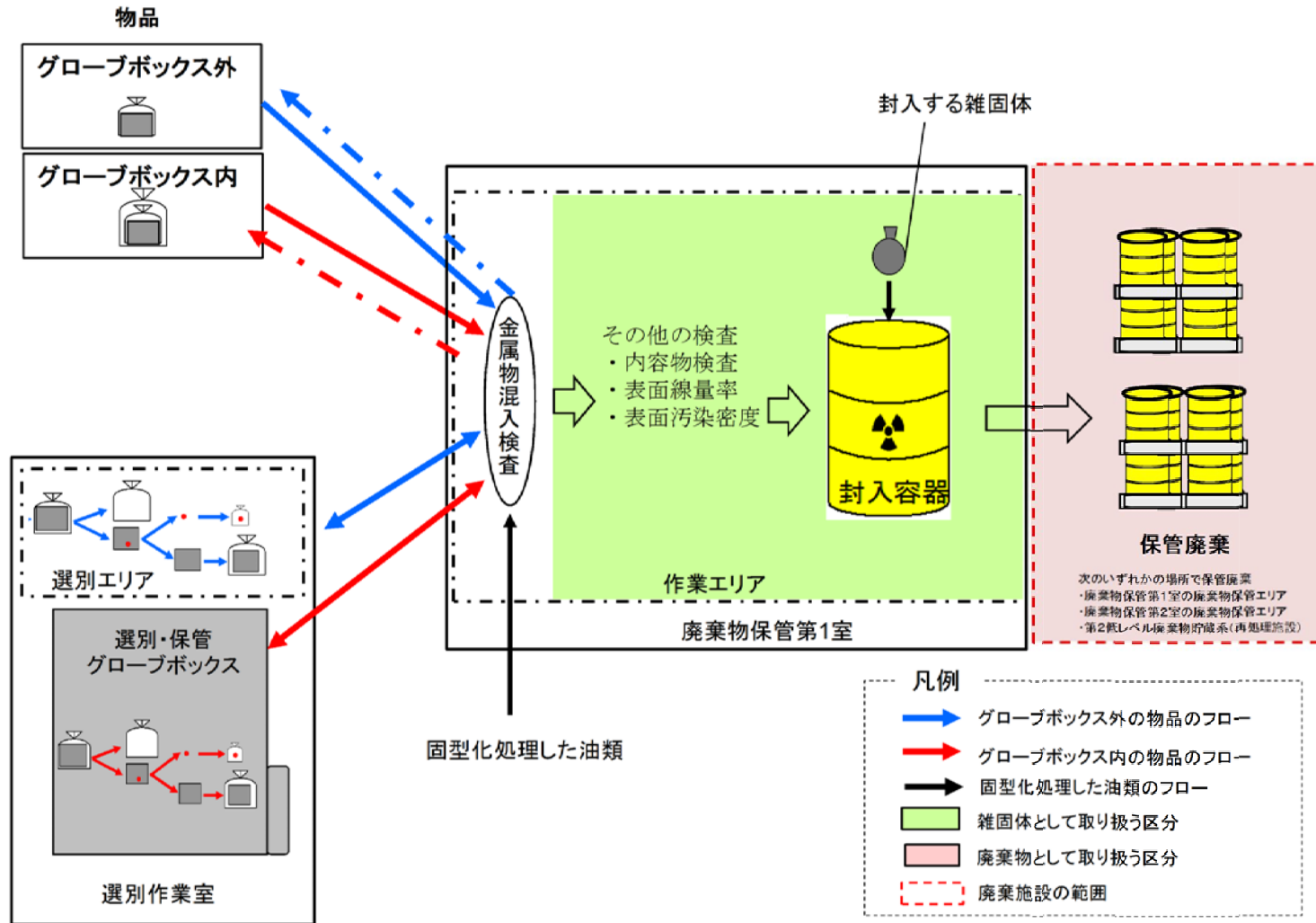
詳細については、次ページ以降に示す。

2. 基本方針

- ① 廃棄物は、廃棄施設で扱う。
- ② 管理区域内作業で発生した物品（油類を含む）は、再利用できる物品とできない物品に選別する作業を実施する。



3. 物品の選別及び廃棄までの流れ(具体的処理フロー)



4. 物品の選別及び廃棄までの流れ(物品の管理)

各工程からの物品の運搬，選別作業は手作業により行う。

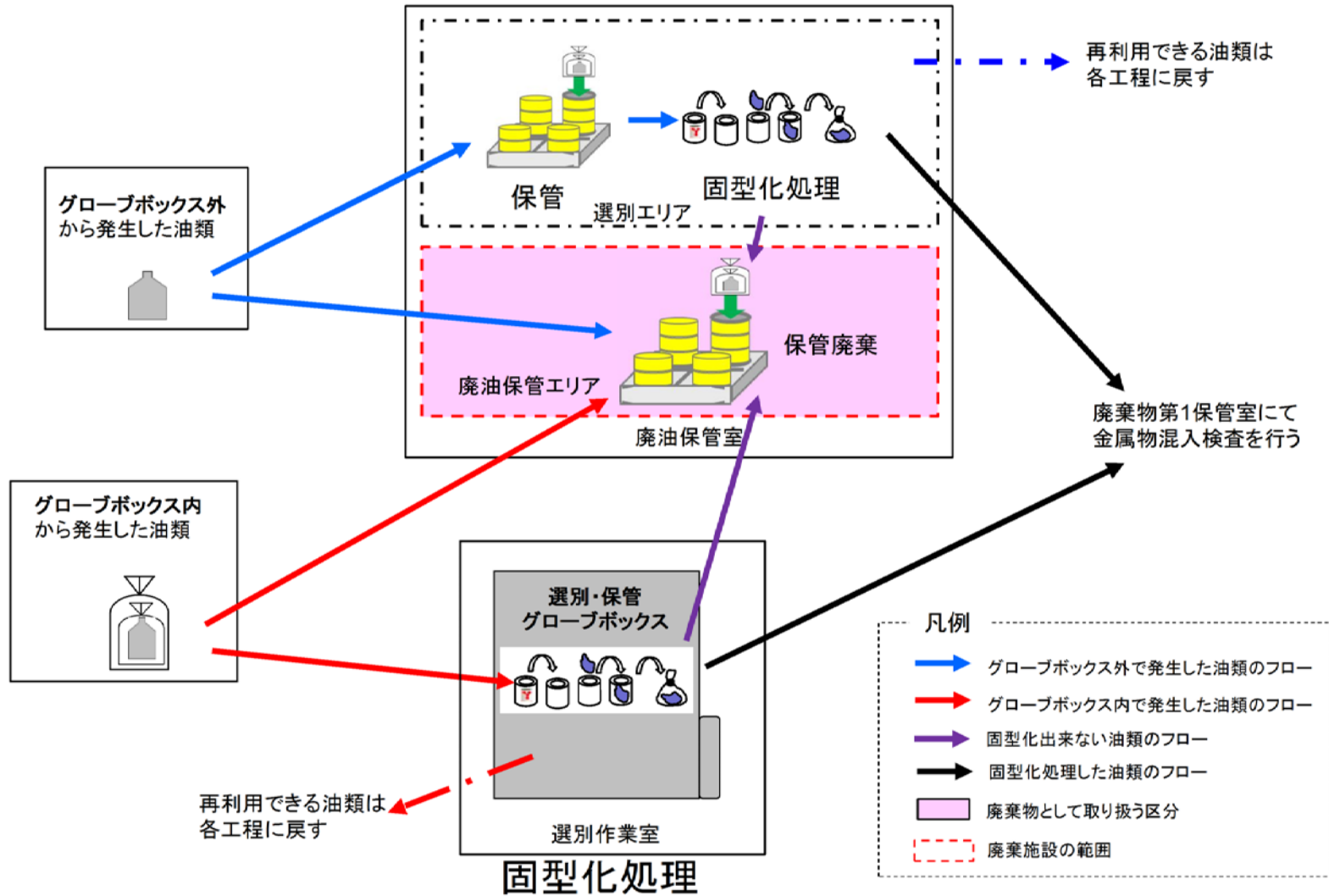
物品については，再利用できる物品とできない物品に選別し，再利用できないものは，可燃性，難燃性又は不燃性に区分し，廃棄物保管第1室の作業エリアで再利用できない金属（以下，「混入物」という。）の有無を確認する。

混入物が無い場合は，雑固体としてドラム缶又は金属製角型容器に封入する。

混入物が有る場合は，選別作業室の選別エリア又は選別・保管設備の選別・保管グローブボックスにて，混入物を抜き取り，可燃性，難燃性又は不燃性に選別し，再度，廃棄物保管第1室の作業エリアで混入物の無いことを確認後，雑固体としてドラム缶又は金属製角型容器に封入する。

廃棄物保管第1室の廃棄物保管エリア及び作業エリアは，明確に区分する。

5. 油類の選別及び廃棄までの流れ(具体的処理フロー)



6. 油類の選別及び廃棄までの流れ(油類の管理)

各工程からの油類の運搬，選別作業は手作業により行う。

油類のうち，固型化する物については，所定の金属容器に収納し，廃油保管室の選別エリア又は選別作業室の選別・保管グローブボックスにて，容器に吸着剤を投入し，油類と吸着剤を攪拌して固型化する。

油類のうち，固型化しない（出来ない）物については，ドラム缶又は金属製容器に封入し，廃油保管室の廃油保管エリアで保管廃棄する。

固型化した油類は，難燃性の袋等に封入するとともに，雑固体として廃棄物保管第1室の作業エリアで混入物が無い場合は，ドラム缶又は金属製角型容器に封入する。

混入物が有る場合は，選別作業室の選別エリア又は選別・保管設備の選別・保管グローブボックスにて，混入物を抜き取り，可燃性，難燃性又は不燃性に選別し，再度，廃棄物保管第1室の作業エリアで混入物の無いことを確認後，雑固体としてドラム缶又は金属製角型容器に封入する。

廃油保管室の廃油保管エリア及び選別エリアは，明確に区分する。

【参考】物品の例

表 管理区域内作業で発生する物品

グローブボックス内	グローブボックス外
ウエス, グローブ, 金型, 交換機器, 油類 等	ゴム手袋, 綿手, ビニルシート, 交 換機器, 油類 等

表 再利用する物品

再利用物品	再利用物品に該当する理由
プレス装置の金型	プレス装置（プレス部）及び小規模プレス装置において圧縮成形に使用する金型は、ペレットの成形において、各種製造条件に合わせ、多種多様の金型を使い分ける必要があるため、継続的に使用する。
燃料製造等を行う装置	選別・保管グローブボックスにて、装置の修理を行い、継続的に使用可能な物品、機器の部品を選別する。
油類	油類については、 <u>使用頻度が少なく混合物が少ないものを再利用する。</u> なお、現時点で再利用できない油類については、 <u>廃棄物量低減と資源の有効活用の観点から、将来的な技術導入により再利用することを検討している。</u>